

2019年11月8日

上場会社名 株式会社テレビ朝日ホールディングス
 コード番号 9409 URL <https://www.tv-asahi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長・CEO (氏名) 早河 洋
 問合せ先責任者 (役職名) 経理局長 (氏名) 小林 直治
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 03-6406-1115

(百万円未満切捨)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	145,416	1.7	5,274	7.1	7,318	2.7	4,537	7.7
2019年3月期第2四半期	147,882	1.4	5,678	33.1	7,125	27.0	4,913	25.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 6,117百万円 (63.5%) 2019年3月期第2四半期 16,755百万円 (19.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	42.34	
2019年3月期第2四半期	45.85	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	451,322	357,030	78.1
2019年3月期	452,000	353,757	77.4

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 352,673百万円 2019年3月期 349,830百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		30.00	50.00
2020年3月期		20.00			
2020年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年3月期 期末配当金30円00銭には、記念配当10円00銭が含まれております。

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	297,000	1.6	13,000	19.6	15,000	21.5	10,000	22.4	93.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、[添付資料] P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	108,529,000 株	2019年3月期	108,529,000 株
2020年3月期2Q	1,353,958 株	2019年3月期	1,367,273 株
2020年3月期2Q	107,167,433 株	2019年3月期2Q	107,163,571 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、環境の変化により異なる結果となることがあります。業績予想の前提につきましては[添付資料] P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料は、2019年11月8日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

・当社は、2019年11月15日(金)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

[添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(セグメント情報)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の日本経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調が続きました。テレビ広告市況におきましては、東京地区のスポット広告の出稿量が前年同期を下回るなど、引き続き厳しい状況となりました。

このような経済状況のなか、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,454億1千6百万円（前年同期比△1.7%）、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が1,401億4千2百万円（同△1.4%）となりました結果、営業利益は52億7千4百万円（同△7.1%）となりました。また、経常利益は73億1千8百万円（同+2.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は45億3千7百万円（同△7.7%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①テレビ放送事業

タイム収入は、アドバイザーの宣伝活動において柔軟性と効率性を重視する動きから、引き続き固定費削減傾向がみられ、レギュラー番組のセールスでは減収となりました。単発番組につきましては、開局60周年記念番組である5夜連続ドラマスペシャル「山崎豊子 白い巨塔」「世界水泳韓国・光州2019」「世界フィギュアスケート国別対抗戦2019」などがあったものの、前年同期の「2018FIFA ワールドカップロシア」などの反動減により、減収となりました。以上の結果、タイム収入合計は415億5千7百万円（前年同期比△5.5%）となりました。

スポット収入は、東京地区の広告出稿量が前年同期を下回ったことなどから減収となりました。業種別では、「金融・保険」「官公庁・団体」などが好調な一方で、「交通・レジャー」「飲料・嗜好品」「化粧品・トイレットリー」などは減収となりました。以上の結果、スポット収入は434億2千2百万円（同△7.1%）となりました。

また、BS・CS収入は130億7千9百万円（同△3.1%）、番組販売収入は65億6千9百万円（同+0.6%）、その他収入は114億5千4百万円（同+1.0%）となりました。

以上により、テレビ放送事業の売上高は1,160億8千3百万円（同△4.9%）、営業費用は1,142億6千1百万円（同△4.0%）となりました結果、営業利益は18億2千1百万円（同△39.5%）となりました。

②音楽出版事業

「ケツメイシ」が全国各地でコンサートツアーを展開したことなどにより、音楽出版事業の売上高は63億8千2百万円（前年同期比+42.1%）、営業費用は56億1千2百万円（同+29.1%）となりました結果、営業利益は7億7千万円（同+429.8%）となりました。

③その他事業

前年同期に販売したドラマ「おっさんずラブ」の反動減などにより、DVD販売が減収となりました。一方、インターネット事業やショッピング事業が好調に推移したほか、「劇場版おっさんずラブ ～LOVE or DEAD～」などにより、出資映画事業が増収となりました。

以上により、その他事業の売上高は297億5千8百万円（前年同期比+7.6%）、営業費用は270億1千5百万円（同+7.5%）となりました結果、営業利益は27億4千3百万円（同+8.4%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比6億7千7百万円減の4,513億2千2百万円となりました。これは、投資有価証券が23億1千3百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が56億1千5百万円、現金及び預金が24億8千万円減少したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末比39億5千万円減の942億9千2百万円となりました。また、純資産合計は、前連結会計年度末比32億7千3百万円増の3,570億3千万円となりました。この結果、自己資本比率は78.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、スポット収入が予想を下回る見通しであることなどから、売上高は前回予想(2019年7月31日発表)を下回る見通しであるものの、収益拡大に向けた取り組みを行うとともに、コストコントロールに努めることで、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を変更しておりません。

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	303,000	13,000	15,000	10,000	93.32
今回修正予想(B)	297,000	13,000	15,000	10,000	93.31
増減額(B-A)	△6,000	—	—	—	
増減率(%)	△2.0%	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	301,744	16,164	19,097	12,879	120.18

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,908	27,427
受取手形及び売掛金	78,534	72,918
有価証券	44,400	45,708
たな卸資産	10,571	11,451
その他	12,422	15,734
貸倒引当金	△73	△71
流動資産合計	175,762	173,169
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	100,642	100,210
有形固定資産合計	100,642	100,210
無形固定資産		
その他	6,373	6,293
無形固定資産合計	6,373	6,293
投資その他の資産		
投資有価証券	148,176	150,489
その他	21,223	21,340
貸倒引当金	△178	△180
投資その他の資産合計	169,220	171,649
固定資産合計	276,237	278,153
資産合計	452,000	451,322
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,149	8,646
その他	53,188	49,267
流動負債合計	62,337	57,913
固定負債		
退職給付に係る負債	17,596	17,555
その他	18,309	18,823
固定負債合計	35,905	36,378
負債合計	98,243	94,292

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,642	36,654
資本剰余金	70,226	70,237
利益剰余金	212,447	213,733
自己株式	△2,854	△2,826
株主資本合計	316,462	317,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,484	39,027
繰延ヘッジ損益	580	321
為替換算調整勘定	△57	△71
退職給付に係る調整累計額	△4,640	△4,402
その他の包括利益累計額合計	33,367	34,874
非支配株主持分	3,926	4,356
純資産合計	353,757	357,030
負債純資産合計	452,000	451,322

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	147,882	145,416
売上原価	111,005	109,689
売上総利益	36,876	35,727
販売費及び一般管理費	31,197	30,452
営業利益	5,678	5,274
営業外収益		
受取配当金	645	817
持分法による投資利益	644	1,031
その他	225	245
営業外収益合計	1,515	2,094
営業外費用		
為替差損	-	13
固定資産廃棄損	47	29
その他	20	6
営業外費用合計	68	50
経常利益	7,125	7,318
特別利益		
投資有価証券売却益	548	-
特別利益合計	548	-
特別損失		
投資有価証券評価損	-	171
特別損失合計	-	171
税金等調整前四半期純利益	7,674	7,147
法人税等	2,649	2,537
四半期純利益	5,024	4,610
非支配株主に帰属する四半期純利益	111	72
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,913	4,537

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	5,024	4,610
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,014	1,489
繰延ヘッジ損益	416	△259
為替換算調整勘定	△16	△14
退職給付に係る調整額	210	237
持分法適用会社に対する持分相当額	106	52
その他の包括利益合計	11,730	1,506
四半期包括利益	16,755	6,117
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,643	6,044
非支配株主に係る四半期包括利益	111	72

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	音楽出版 事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	120,216	4,373	23,292	147,882	—	147,882
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,873	118	4,367	6,359	△6,359	—
計	122,089	4,492	27,659	154,241	△6,359	147,882
セグメント利益	3,011	145	2,531	5,688	△9	5,678

(注) 1. セグメント利益の調整額△9百万円は、セグメント間取引消去△37百万円、当社における子会社からの収入1,076百万円及び全社費用△1,048百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	音楽出版 事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	114,237	6,267	24,912	145,416	—	145,416
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,846	115	4,846	6,807	△6,807	—
計	116,083	6,382	29,758	152,224	△6,807	145,416
セグメント利益	1,821	770	2,743	5,335	△60	5,274

(注) 1. セグメント利益の調整額△60百万円は、セグメント間取引消去△64百万円、当社における子会社からの収入1,071百万円及び全社費用△1,067百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。